

ほほえん de 北播磨

発行/北播磨総合医療センター 広報委員会(事務局:地域医療連携室内)

〒675-1392 兵庫県小野市市場町 926-250

電話 0794-88-8800(代表) FAX 0794-62-9931

ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>

2014 October

平成26年10月

第2号

あいさつ

異常気象によるゲリラ豪雨が日本各地をおそい、日照時間が短く蒸し暑かった夏も過ぎ、朝晩めっきり涼しくなってきました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

この10月1日で、北播磨総合医療センターが開設されて丁度1年が過ぎました。振り返りますと、診療科は内科系18、外科系15の合計33科が開設され、総医師数は臨床研修医12名を含めて106名となり、外来入院患者数も大幅に増加し、目標であるマグネットホスピタルとしての順調な滑り出しができたと思えます。これもひとえに皆様のお蔭であると心より感謝申し上げます。ここで、皆様がよく目にされる当院のシンボルマークの作者による趣旨について説明します。



まず、北播磨総合医療センター(Kita-harima Medical Center)の頭文字K H M Cを表現しています。同時に病院がある北播磨の山々などの自然環境と新病院なので新芽、成長してゆく木々をイメージして、病院の周りの雰囲気や病院に対する安心感、これからの病院の成長を表現しています。さらに、縦線は柱、横線を四角にして窓に見立てて、病院の建物を印象付ける形となっています。全国から応募のあった125作品の中から専門家により厳正に審査され選ばれた最優秀作品です。作者は三木市在住のデザイナー、高田雅史氏です。1年間、この新病院で実際に勤務して改めて見直してみると、意味合いの深い、素晴らしいシンボルマークであると実感されます。

これからも、私たちは、この最高の自然環境の中にある設備も充実した施設で、急性期病院として安心できる最良の医療を提供するよう努力してゆきますので、皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

- 副院長あいさつ・・・・・・・・・・1
- ドクターのリレー講座・・・・・・・・2
- 認定看護師リレー紹介・・・・・・・・4
- 褥瘡予防と治療・・・・・・・・・・5
- 病院探検ツアー・・・・・・・・・・6
- 公開講座報告・・・・・・・・・・7
- 病院フェスタ・・・・・・・・・・8
- これからの地域医療・・・・・・・・9
- 外来診療日程・・・・・・・・・・10
- 編集後記ほか・・・・・・・・・・12



北播磨総合医療センター
副院長兼心臓血管外科総括部長 麻田達郎

(シンボルマーク)



KITA-HARIMA
MEDICAL
CENTER

～ドクターのリレー講座～

神経内科/Neurology の紹介

神経内科部長 濱口浩敏



<コラム>

神経内科 (Neurology) は、脳・脊髄・末梢神経・筋肉といった脳神経系に障害が起こる病気を内科的に診療する分野です。頭痛、めまい、しびれ、脱力、けいれんなどが生じたら神経内科を受診してください。なお、「こころの病気」は専門外です。

北播磨総合医療センターの開院に向けて、2013年4月に赴任し、神経内科診療を開始しました。開院後は、様々な神経疾患の患者さんに対応できる体制を作ってきました。2014年4月より脳神経外科と共同で急性期脳卒中診療を中心とした当番体制を確立しました。

2014年6月より7階西病棟(神経内科・脳神経外科・泌尿器科)がオープンし、積極的に神経内科の患者さんを受け入れることができるようになりました。入院患者さんは脳卒中が中心ですが、他にもけいれん、めまい、髄膜炎、ギラン・バレー症候群などから、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)といった神経難病まで多岐にわたっています。

外来診療としては、神経内科は診察にかかる時間が長くご迷惑をかけることが多いため、初診紹介予約制を敷くことで待ち時間の解消をはかっています。緊急患者さんの場合は予約外でも対応しています。

現在、脳神経外科と共同で、年に4回脳卒中市民講座を開催しています。また、院内で中央検査室と協力し、血管年齢の講座も定期的に開催してい

ます。そうすることで市民の皆様にも播磨総合医療センターを認識してもらい、神経内科疾患を診ることのできる中核病院を目指したいと思っています。

よく間違えられる診療科との違い

神経内科

脳や脊髄といった神経系に障害が起こる病気を
内科的に診療する分野

脳血管障害(脳梗塞, 脳出血),
パーキンソン病, てんかん,
変性疾患など

脳神経外科

脳や脊髄といった神経系に障害が起こる病気を
外科的(手術)に診療する分野

脳血管障害(くも膜下出血),
頭部外傷, 脳腫瘍,
他手術適応のある疾患

精神科(神経科)

「こころ」の障害
器質的に問題がない場合

統合失調症, うつ病,
神経症, ヒステリーなど

心療内科

「からだ」の障害で
「からだ」に障害がでる

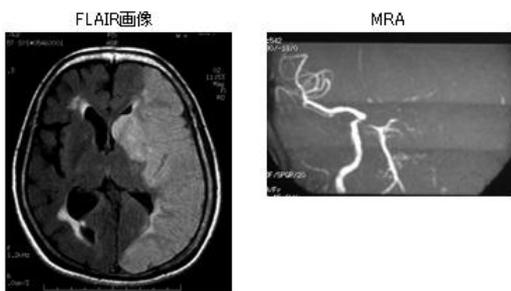
摂食障害, 不眠,
過呼吸, 過敏性腸炎など

神経内科の対象疾患

1. 脳血管障害

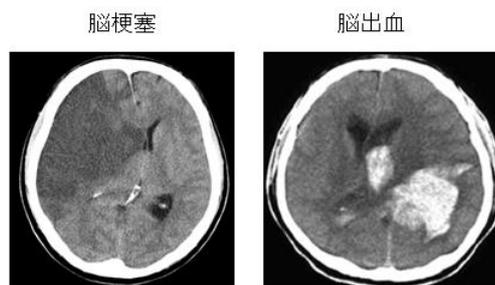
脳血管障害(脳梗塞, 脳出血, 一過性脳虚血発作)については神経内科で治療を行っています。脳梗塞超急性期の血栓溶解療法(t-PA静注療法)、血栓回収療法は脳神経外科と協力して積極的に行っています。急性期から抗血栓治療、リハビリテーションを積極的に行うとともに、脳卒中危険因子

脳血管障害の頭部MRI・MRA(左内頸動脈閉塞)



左内頸動脈閉塞により左大脳半球に広範囲な脳梗塞を呈しています

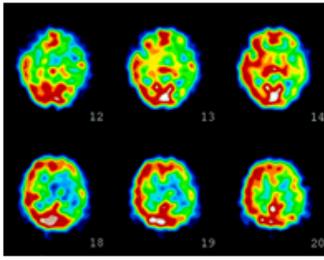
脳血管障害の頭部CT



CTでは、脳梗塞は黒く、脳出血は白く描出されます

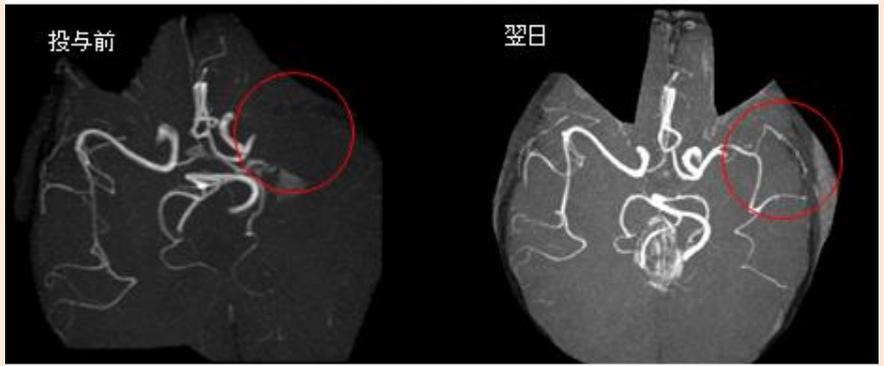
(高血圧、糖尿病、脂質異常、心房細動、喫煙、飲酒)の改善をはかります。きめ細かな対応をすることで、早期復帰を目指すよう努力しています。

脳血流シンチ
(左大脳半球の脳梗塞)



左大脳半球の血流が低下しています

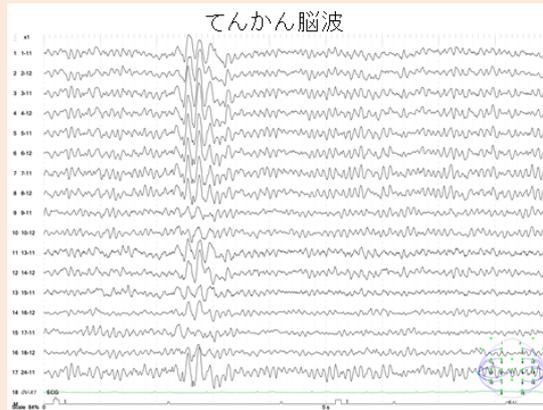
rt-PA(血栓溶解療法) 前後の頭部MRA



治療により閉塞した血管が再開通しました

2. てんかん

てんかんは脳の神経細胞が異常に興奮することによって起こる発作を起す病気です。子供だけでなく成人の方でも起こります。特に中高年の方が発作を起こす場合は、基礎疾患に脳の病気が隠れている可能性があります。頭部MRI、CT、脳波などで評価して抗てんかん薬を投与します。

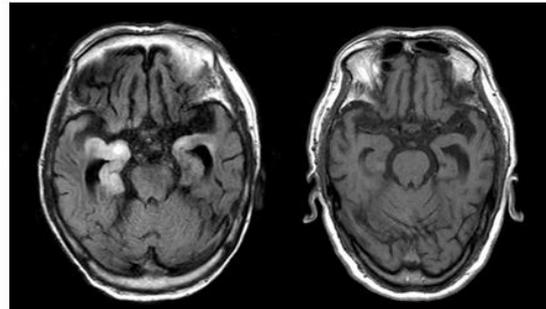


3. 神経変性疾患

神経変性疾患とは、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー型認知症などが対象となります。いずれも脳や脊髄の神経細胞が変性することで様々な症状が出現します。専門的に症状を診察して、

MRIや脳血流シンチなどで評価します。

さまざまな神経疾患
ヘルペス脳炎 アルツハイマー型認知症



右海馬に異常信号を認めます 左海馬が萎縮しています

4. 脳炎・髄膜炎

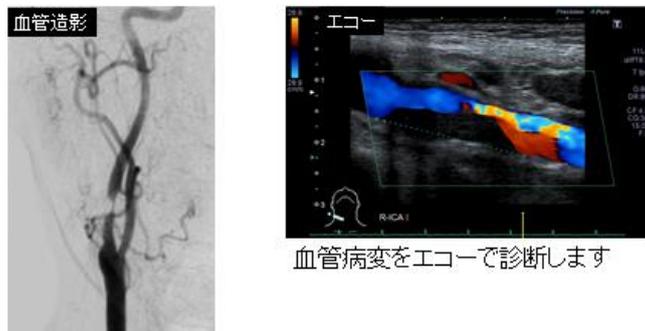
頭痛・頸部痛、発熱が続いたときは髄膜炎かもしれません。意識障害を起したときは脳炎になっていく可能性があります。髄液検査と頭部CT、MRIをみることで危ない髄膜炎・脳炎を鑑別し、適切な治療を行います。

5. その他

その他、神経内科で診る神経疾患には、神経免疫疾患や末梢神経障害、筋疾患などがあります。対象としては、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、多発筋炎、皮膚筋炎、血管炎などが当て

はまります。いずれも、めったにみない病気ですが、専門的な診断・治療が必要です。

内頸動脈狭窄症



血管病変をエコーで診断します

<コラム>

神経内科では、全身血管病変を血管エコーや脈波検査を用いて評価しています。頸動脈プラーク・狭窄だけでなく、下肢静脈にできる深部静脈血栓や下肢動脈狭窄、腎動脈狭窄まで幅広く評価しています(担当濱口)。

～認定看護師の活動リレー紹介～

救急看護認定看護師の巻

救急室 副課長

田淵 美和子



認定看護師とは
日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つ。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指す。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がり看護の質の向上を目的としている。

院内トリアージにご理解をお願いします

救急看護認定看護師の活動についてご紹介します。

当院は、北播磨地域で初めて独立した救急診療科として、救急科専従の医師2名とともに急病患者さんの受け入れを行っています。

救急外来を訪れる患者さんのご病状はさまざまで、一見軽症に見えても一刻を争い対応しなければならぬ患者さんがいます。そのため、当院では「院内トリアージ」を行っています。「院内トリアージ」とは「治療を受けるまで、患者さまが安全に待つことができる時間を決定すること」と定義されています。

電話連絡後、来院された方、直接来院された方を問わず、トリアージ票をご記入いただき、院内トリアージガイドラインに沿って、まず看護師が症状を伺い緊急度と重症度の判断を行います。

トリアージの結果、緊急性が高いと判断された方を優先して診察を行うため、受付順番通りにならない場合があります。また、緊急性が低いと判断

された場合は待ち時間が長くなることがあります。

ご心配なことなどありましたら遠慮なくご相談ください。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

また、院内で急変が起こった場合を想定して、緊急トレーニングを実施しています。医師や看護師だけでなく受付や事務職と協力し、安全な医療が提供できるように努めています。



●院内トリアージの説明文

救急外来を受診されるみなさまへ

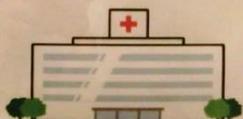
当院では「院内トリアージ」を行っています。

「院内トリアージ」とは「治療を受けるまで、患者さまが安全に待つことができる時間を決定すること」と定義されています。電話連絡後、来院された方、直接来院された方を問わず、トリアージ票をご記入いただき、院内トリアージガイドラインに沿って、まず看護師が症状を伺い緊急度と重症度の判断を行います。

トリアージの結果、緊急性が高いと判断された方を優先して診察を行うため、受付順番通りにならない場合があります。

また、緊急性が低いと判断された場合は待ち時間が長くなる場合があります。

ご心配なことなどありましたら遠慮なくご相談ください。みなさまのご理解とご協力をお願いします。



北播磨総合医療センター 院長



●緊急トレーニングの様子



2014/08/27 14:07

2014/08/22 12:58

褥瘡 予防と治療

褥瘡（床ずれ）とは、皮膚に圧迫が加わって血液の流れが悪くなり、皮膚や皮膚の下の組織が傷んでしまうことを言います。寝たきりの方に褥瘡ができてしまうことが多かったため「床ずれ」と言われています。北播磨総合医療センターでは、多職種合同チームで連携して、褥瘡ができる原因を分析し、対策を行うことで、予防に努め、褥瘡が発生している場合は、早期治療を行っています。

褥瘡ができる原因

- ◇ 体を自分で動かすことができない、または、少ししか動かせない
→体にかかる圧を分散できない
- ◇ 痩せている→骨が浮いて見える部分にだけ圧が加わる
- ◇ 体の一部分が動きにくい（麻痺や拘縮がある）
→動きにくい部分に圧が加わる
- ◇ 食事量が少ない、貧血がある→栄養が不足し、血液の流れがわるくなる
- ◇ むくみがある→皮膚が傷みやすい
- ◇ 尿や便が間に合わない、おむつで排泄をしている
→皮膚に排泄物がつくことで、皮膚が弱る



こうしゆく
※拘縮（関節を動かさないため、次第に関節が硬くなってしまった状態のこと）



皮膚・排泄ケア認定看護師：
褥瘡が発生しやすい人の把握を行い、ケア内容を見直します。

チームで予防する褥瘡対策

医事課：
会計・事務を担当しています。
臨床検査技師：
検査（栄養・炎症等）結果の把握をします。

管理栄養士：
褥瘡を治すには栄養状態をよくすることが重要です。患者さんに合わせた栄養サポートを行います。



薬剤師：
治療に使用する薬剤の準備や管理、内服や点滴の確認も行います。



作業療法士：
リハビリテーション；褥瘡ができにくい姿勢を検討します。



医師：
創部に適した治療法を施行すると共に、チームの仲間と協力して褥瘡ができた原因を追及し再発予防に努めます。



看護師：
褥瘡ができる原因がないか確認し、原因に応じた対策を考え、実施しています。

❀ 形成外科医師・皮膚科医師からのためになる褥瘡予防のワンポイント ❀

数時間、同じ体位でいるだけでも褥瘡は発生します。体の弱っているお年寄りならなおさらです。自力で寝返りを打てない方は、いつ褥瘡が発生してもおかしくないと思ってケアをして下さい。

★病院探検ツアー

【女性病棟(4階東)を紹介します】

～安心して出産できる病院をめざして～



私たちは、未来を育てるお手伝いをしています
～すべては、母と子の幸せのために～

私たち女性病棟
スタッフです

これからの未来を担うお子様の誕生を私たちは
お手伝いさせていただきます。

ママ同士楽しく
ランチタイム



分娩台に移らずに
お産ができるベッド

小児科医が
診察します

マタニティーヨガ
風景



《診察のご案内》

受付時間 8時30分～11時30分

	月	火	水	木	金
午前	西井	西井	西井	中野	中野
午後					産後健診

- ★妊娠中は助産師外来・マザークラス・マタニティーヨガを開催。
- ★産後は母児同室とし、育児のサポート。
- ★リラクゼーションとしてアロマオイルを使用したマッサージをご要望に応じて、受けていただけます。

※当院の産婦人科は初診の方・紹介状をお持ちでない方も受診していただけます。

※里帰り出産も随時、受け付けています。紹介状をご持参ください。

※詳細はホームページまたは、産婦人科外来へお問い合わせください。

(分娩に関して電話でお問い合わせ頂く際は14時～16時にお願いたします)



公開講座開催報告

～北播磨総合医療センターでは、一般市民向けに医療に関する公開講座を企画開催しています。～ ※広報委員会

公開講座「血管年齢を調べてみよう」 好評につき、第2回目を開催しました。

「血管年齢を調べてみよう」
健康そうに見えても実は進ん
でいる動脈硬化」

神経内科の濱口部長と中央検査室スタッフが中心となり、参加者全員の血管年齢測定を実施する講座を今年の6月に初めて企画開催しましたが、好評につき第2回目を9月23日（火）に開催しました。今回は、何と受付開始30分足らずで募集定員の50名に達してしまい、電話がつながらなかった多くのみなさんから苦情のお電話をいただくという課題も残りました。

当日は、午前10時に開講、藪本理事のあいさつから始まりました。続いて濱口医師のミニ講座、本講座の意義や検査で何がわかるかなど、わかりやすく丁寧な説明がありました。

検査は、両うで、両足首の血圧を測る血圧脈波検査をまず行い、終わった方から頸動脈エコー検査に移っていただきました。最後には、その結果を持って、濱口医師から個別に説明を受けることができ、みなさん満足された様子で帰路につかれました。



公開講座 『冬場の感染症予防』のお知らせ

日時

平成26年12月13日（土）
午前10:00～11:30

場所

自由が丘公民館（三木市）2階中会議室
北播磨総合医療センター 感染対策室

講師

感染管理認定看護師（看護課長） 高橋 尚子



※参加申込は自由が丘公民館（0794-85-4700）もしくは北播磨総合医療センター地域医療連携室（0794-88-8800 代表）まで。この講座は、当日参加も可能です。

北播磨総合医療センター開院1周年記念

病 院 フ ェ ス タ

と き：平成26年**10月26日**（日）10:00～14:00
 ところ：北播磨総合医療センター（1階玄関・外来ホール）

ステージ・講演

- 10:00 オープニング
- 10:30 三木高校吹奏楽部演奏 (30分)
- 12:00 ミュージックファクトリーによる
ハンドベル演奏 (30分)
- 12:40 健康講座 (60分)
演題：『ロコモって何？』
～「寝たきり」にならないために～
講師：整形外科総括部長 橋本 靖
- 14:00 エンディング



イベントその① 10:00～14:00

- 手術室体験ツアー (13:00 最終受付)
～めったにできない入室体験～
- 院内見学ツアー (12:00 最終受付)
～検査室・放射線室・リハビリ室等～
- 救急蘇生体験
～いざというとき、お役に立ちます～
- 健康チェック
～血圧・体脂肪・血管年齢・骨密度～
- 健康相談
～ドクターや看護師・栄養士による相談～
- 糖尿病何でも相談
～糖尿病に関する相談～
- 手洗い体験
～これからの季節、要注意～
- 白衣試着体験 (13:30 まで)
～キッズ歓迎、あなたも1日ナース～
- 薬剤師体験 (薬剤師の業務)
～キッズから大人までOKです～
- ボランティアブース
～病院ボランティアさんの活動を紹介します～
- キッズコーナー (10:30～13:30 無くなり次第終了)
～いろんなアトラクションでお待ちしています～
- モニターでの活動紹介
～スタッフの活動を紹介します～



イベントその② 10:00～14:00

- ★エアテントの展示
～災害時に活躍するテントを紹介します～
- ★救急車・消防車の展示
～間近で見るチャンスです～
- ★軽食コーナー
～レストラン、カフェで提供します～



来てね！



『地域医療連携』が、これからの地域医療の鍵

地域の中核病院に患者さんが集中してしまうと、病院が持っている最適な医療サービスを提供できなくなってしまう。この全国的な傾向の中で、医療従事者への過度な負担増が、医師や看護師の離職の要因ともなっています。最悪のケースでは、地域医療の崩壊を招いています。

このような現状を打開するための一つの方法として、厚生労働省から「地域医療連携」の指針が出されました。地域全体で地域医療を支えようということなのです。

北播磨総合医療センターは、急性期医療を中心とした医療を提供しています。そのため状態の安定した患者さんには、地域の「かかりつけ医」への紹介を行っています。そして、当院での専門的な治療が必要となった場合には、かかりつけ医から当院へ紹介状を持って来院いただく形を理想としています。その際、かかりつけ医から

FAXで予約をしていただくも初診でも受付や診療の待ち時間が短くなります。（一部予約診療のみの診療科があります。）

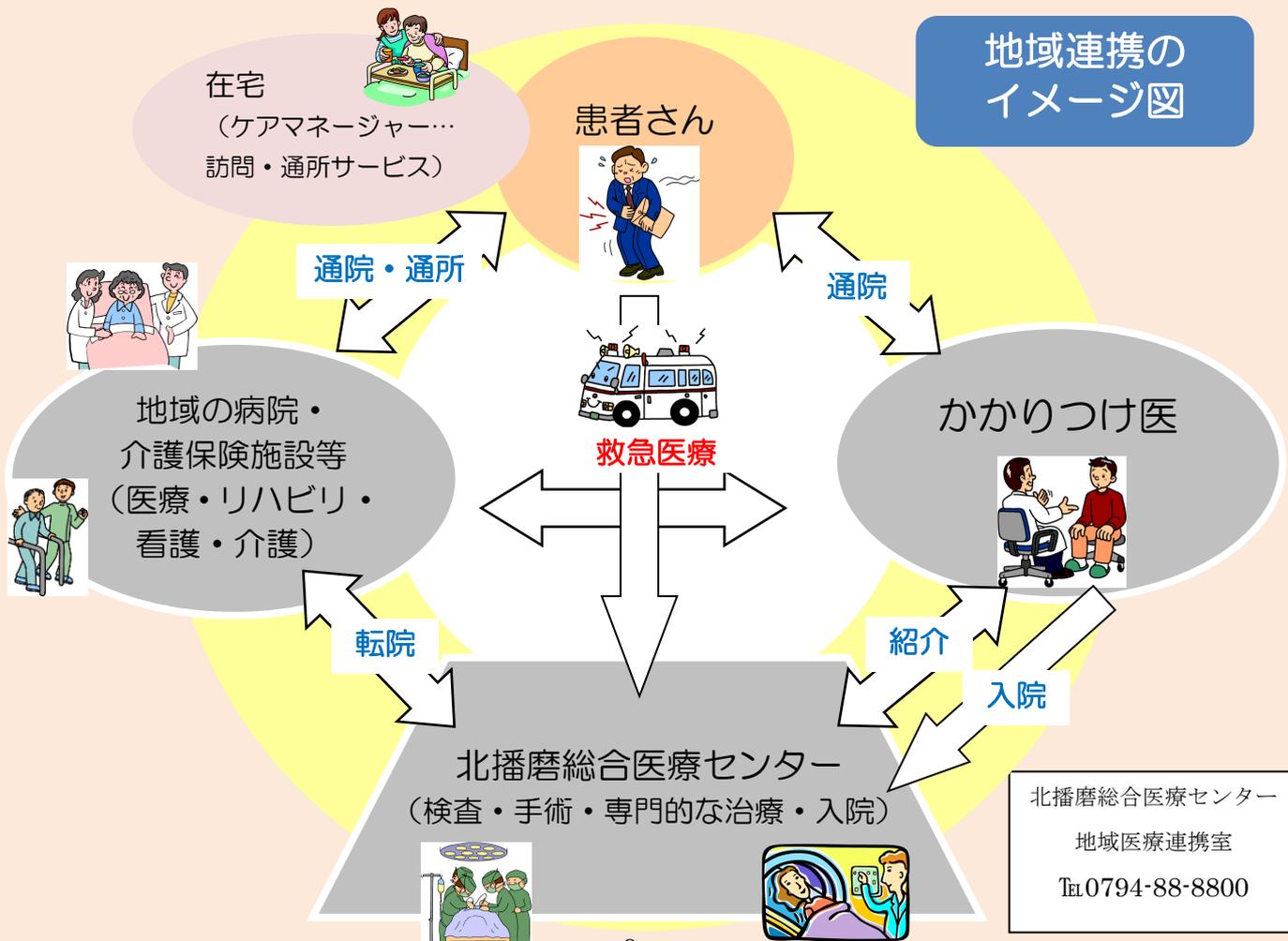
地域の医療機関がそれぞれの機能を活かして、効率的で質の高い医療を提供する仕組みが「地域医療連携」です。

市民の皆様にご理解とご協力をお願い申し上げます。

「かかりつけ医」とは

かかりつけ医とは、皆様のご近所の医院やクリニックの医師のことです。これまでにかかられた病気のことや飲んでいるお薬のこと、またご家族のことなど、何でも相談できる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。

地域連携のイメージ図



診療科		月	火	水	木	金	備考
心臓血管外科	午前		麻田	麻田		顔	
	午後		麻田	麻田		顔	予約のみ
脳神経外科	午前	岡村	三宅		三宅	鶴山	
		三宅	鶴山		岡村	藤田	予約のみ
ペインクリニック内科	午前			佐藤			予約のみ
産婦人科	午前	西井	西井	西井	中野 (受付10時まで)	中野	木曜日は初診・新患のみ
小児科	午前	藤井	竹中	坂口	藤井	宅見	予約なし
		早野	山辺	藤村	神戸大学	早野	予約なし
	午後	藤村 (予防接種)	早野(心エコー) 第2・4・5週		早野(フォロー)	早野 (アレルギー)	要予約
		坂口(フォローⅡ) (第1・3週)	こども病院(循環器) 第1・3週		腎・泌尿器外来 (第1・3週)		
		宅見(内分泌)	藤井(脳神経)	宅見(内分泌)	竹中 (アレルギー)	竹中(発達行動)	
	竹中(発達初診) (第2・4週)	奥村(発達)	山辺(心身)	小児外科 (第2・4週)	坂口 (乳児検診)	要予約	
眼科	午前	西崎	金井	田邊	田邊	西崎	初・再診
			田邊	西崎	金井	金井 (初診)	再診のみ
				硝子体注射			予約のみ
	午後			検査	角膜外来 第3週	角膜外来 第2・4週	予約のみ
			検査	検査		斜視・弱視外来 第1・3週	予約のみ
	検査	検査		コンタクト外来 第2・4週		予約のみ	
耳鼻咽喉・頭頸部外科	午前	森田	交代医師	山本	森田	神戸大学	予約以外の受付は11時まで
		山本	山本 (予約のみ)	寺菌	寺菌		予約以外の受付は11時まで
	午後	寺菌			山本		予約のみ
		処置外来		森田	処置外来		予約のみ
		免疫アレルギー外来		腫瘍外来	免疫アレルギー外来		予約のみ
皮膚科	午前	吉崎	吉崎	吉崎	吉崎	吉崎	
		濱岡	濱岡	濱岡	濱岡	濱岡	
泌尿器科	午前	武市 (予約のみ)	山崎 (初・再診)		武市 (初・再診)	山崎 (予約のみ)	
		松本 (初・再診)	松本 (予約のみ)		松本 (予約のみ)	松本 (初・再診)	
	午後	武市	山崎		武市	山崎	予約のみ
放射線診断科	午前		富田		宮本		
放射線治療科	午前			上藺		宮脇	
歯科口腔外科	午前	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内	
		坂口	坂口	坂口	坂口	坂口	
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	予約のみ
		小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	予約のみ
		再診	再診		再診	再診	各担当医
	再診	再診		再診	再診	各担当医	
もの忘れ外来	午後		見市 (10:00~16:00)				予約のみ
精神科	午前					東	予約のみ 第1, 2, 3, 4週
認知症看護外来				高原 (9:00~16:00)			予約制 (担当:認知症看護認定看護師)
がん看護外来					高山 (9:00~16:00)		予約制 (担当:がん看護認定看護師)

医事管理課作成

◆詳細は医事管理課にお問い合わせください。

外来診療日程表		月	火	水	木	金	備考
		外来診察の受付は、初診は午前8時30分から11時30分、再診は午前8時から11時30分に行います。診察開始時間は午前9時からです。午後は予約のみの診察となります。(平成26年10月01日現在)					
診療科		月	火	水	木	金	備考
内科・老年内科	午前	粟野	西山	原	横野	門脇	
		荒井	竹内 (第1.3.5週) 高橋 (第2.4週)	杉本	安友	大橋	
循環器内科	午前	山脇	平石	平山	江尻	山脇	初診・再診(予約)
		加藤	中川	中川	加藤	平石	初診・再診(予約)
		平山	大橋	ペースメーカー外来 第2.4週	栗野	柏木	再診(予約)
	午後			江尻			予約のみ
消化器内科	午前	堀	田中	佐貫	佐々木	吉江	初診
		佐々木	佐貫	田中	吉江	堀	再診
		境			山田	木下	
	午後	担当医					予約のみ
呼吸器内科	午前		金森 (初診のみ)	金城	松本	高月	初再診
			高月		金森	松本	予約診療
	午後		高月		金森	松本	予約診療
腎臓内科	午前	石田	米倉			西 (第2週) 藤井 (第4週)	予約のみ
糖尿・内分泌内科	午前	安友	安友	西山	西山	山田	
		原	向田	中村	勝二	中村	
	午後			竹内	高橋		予約のみ
神経内科	午前	濱口	永田 (再診のみ)	濱口	小田	高田	予約のみ(初診紹介予約)
				小田			予約のみ
	午後	濱口	細見	濱口	小田	高田	予約のみ(初診紹介予約)
血液腫瘍内科	午前	大幡 (血液)	杉本	今村 (腫瘍)	南 (血液)		月曜日:予約のみ
	午後	杉本 (血液)	杉本				予約のみ
リウマチ科	午前			西村		森信 (第3週)	受付は11時まで
外科	午前	沢	岩谷	黒田	大坪	黒田	初診・再診
		御井	担当医	福岡	担当医	村田	再診
			岡		岡		乳腺(予約のみ)
ストーマ外来	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約制(担当:皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第3週)					電話相談のみ(13:00~16:00)
呼吸器外科	午前				高田		予約のみ
整形外科	午前	橋本(初診のみ)	林(初診のみ)	瀧川	須田	今泉	初診優先(予約優先・枠限有り)
		竹内	今泉(予約のみ) (予約外不可)	橋本 (枠限有り)	瀧川	須田	予約再診優先
	午後	担当医		林	担当医	担当医	完全予約制
形成外科	午前	藤井	藤井	創傷外来	藤井		第2木曜日は乳房外来(田原) (予約のみ)
		西尾	西尾 再診(9~10時)	西尾	西尾		予約のみ
		江草 再診(9~10時)	江草	江草	江草		予約のみ
	午後	手術 学童外来(16時~)	レーザー外来	創傷外来			第1~4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)
		レーザー外来 学童外来(16時~)		創傷外来			予約のみ
	学童外来 (16時~)	レーザー外来	創傷外来			予約のみ	

外来ミニ講座を始めました！

～外来待ち時間を有意義に～



8/27 (水)

外来の待ち時間を有意義に過ごしていただくための一つの方法として、患者サービスマネジメント委員会が外来ミニ講座を企画開催しています。

最初の開催は、8月27日(水)で、午前11時からスタートしました。

講師は、糖尿病看護認定看護師の高橋朋美看護師で、講座のテーマは『ペットボトル症候群』でした。



9/8 (月)

どれくらいの方が聴きにきてくださるか、心配していましたが、お話が始まると、徐々に集まってこられ、最終的には30人ぐらいの方が来てくださいました。

第2回目の開催は、9月8日(月)11時からで、認知症看護認定看護師である高原昭看護師が講師を務めました。

テーマは『認知症の予防について』でした。

今後の予定

- ◎10月1日(水)11:00
心疾患患者の日常生活注意点
- ◎10月22日(水)11:00
手洗い方法について
- ◎11月7日(金)11:00
緩和ケアについて
- ◎11月20日(木)11:00
認知症の症状について
- ◎12月3日(水)11:00
がんの痛みについて
- ◎12月18日(水)11:00
年末年始の過ごし方※糖尿病患者



9/24 (水)

第3回目の開催は、9月24日(水)11時からで、感染管理認定看護師である高橋尚子看護師が講師を務めました。

テーマは『結核週間について』でした。

30分程度のミニ講座ですが、今後も月2回のペースで開催していく予定です。当面は認定看護師が講師を務めます。

【編集後記】

今年の夏は、日本各地で大雨による災害が発生しました。また、テング熱の日本国内での感染が報告され、世界ではエボラ出血熱発生がニュースとなり、異常気象、聞き慣れない病気と驚くことが多かった夏ではなかったでしょうか。

「備えあれば憂いなし」となるよう、本紙はこれからも皆様のお役に立つ様々な情報を発信していきたいと思えます。

薬剤室薬剤師

福原美和

